

# 宇治田原町議会だより



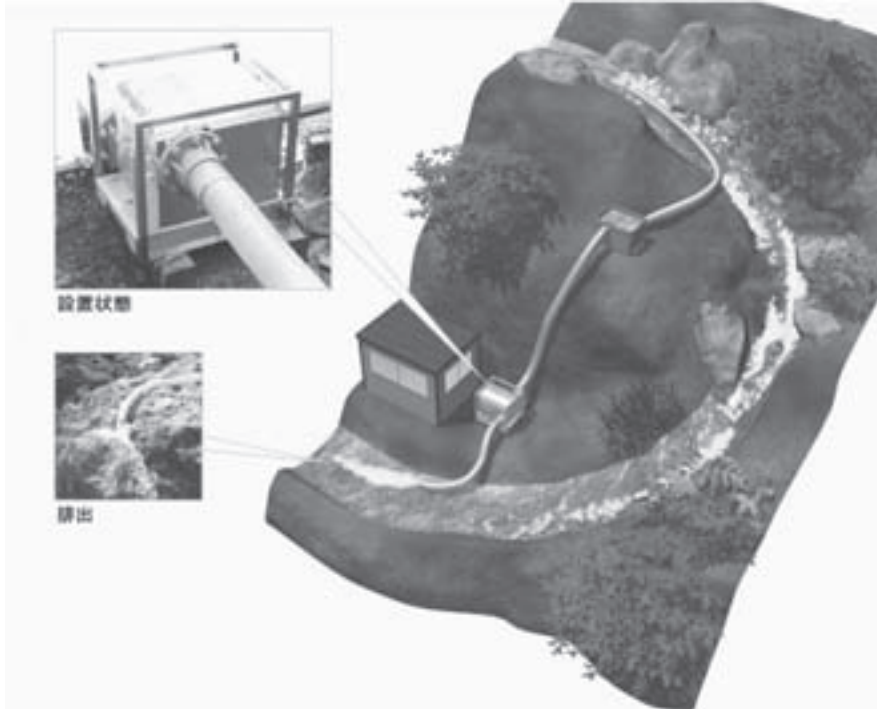
## 《目次》

- 3月定例会…………… 2P
- 改正した条例・補正した予算…………… 4P
- 予算特別委員会…………… 5P
- 6議員が町政を問う…………… 10P
- 研修報告…………… 16P
- インタビュー（柘植彩さん、林恵子さん） …… 17P

**No.71** 2012.5.1

# 新規拡充施策に1億400万円 平成24年度予算 可決

3月定例会



小水力発電イメージ図

平成24年第1回定例会は、3月8日から29日まで開催した。予算関係14件(補正7件・当初7件)、人事案件1件、条例関係14件、その他の案件10件が提出され、いずれも原案通り可決。当初予算については予算特別委員会を設置し、慎重に審議した。  
一般質問には6人の議員が立ち、活発な議論を展開した。

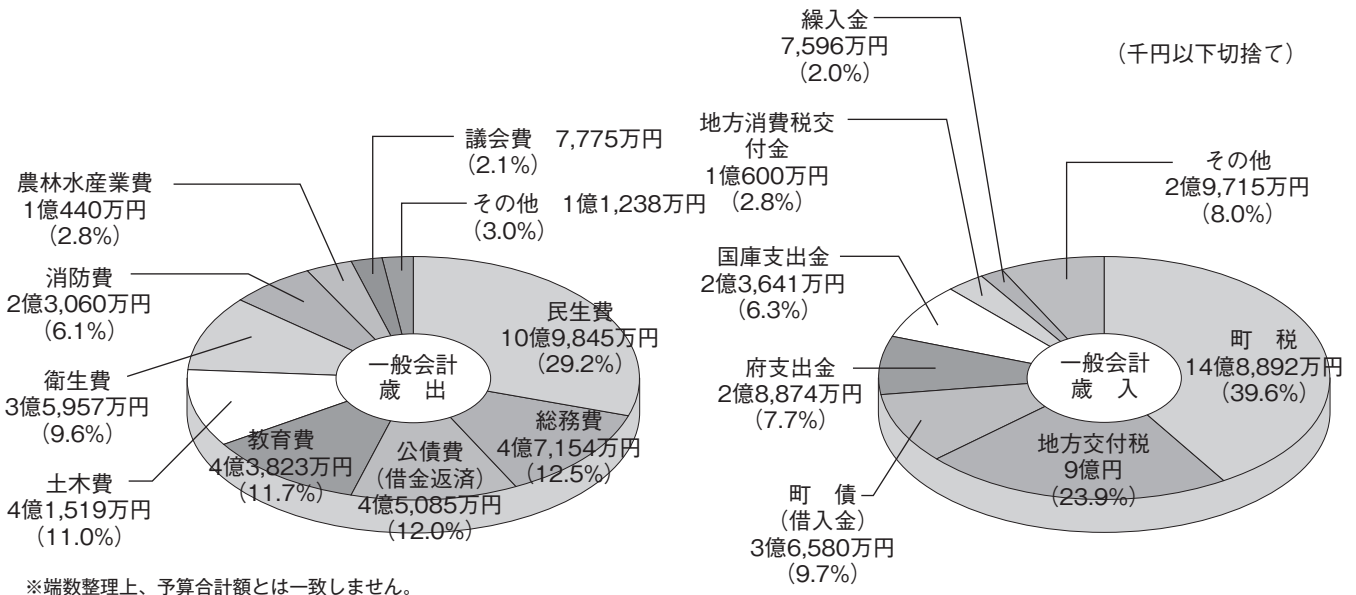
## 会計別の予算

(千円以下切捨て)

会計予算名		予算額	前年度比較	議決	
一般会計		37億5,900万円	1.3%	可決	賛成9・反対2
特別会計	国民健康保険会計	10億7,247万円	2.4%	可決	賛成8・反対3
	後期高齢者医療会計	8,364万円	3.8%	可決	賛成8・反対3
	介護保険会計	6億8,505万円	6.7%	可決	賛成9・反対2
	奥山田地区簡水会計	8,783万円	68.1%	可決	賛成全員
	公共下水道会計	5億3,642万円	△11.0%	可決	賛成全員
水道事業会計		4億3,278万円	25.9%	可決	賛成全員
合計		66億5,721万円	2.7%		

# 一般会計

## 当初予算 37億5,900万円 (前年度対比 1.3%増)



## 6つの重点プロジェクト (主な事業)

(千円以下切捨て)

### 地域福祉対策

- 福祉バス事業 1,416万円  
(バスを小型化し、ルートを拡充)
- 高齢者学び応援パスポート事業 120万円  
(高齢者の公共施設使用料・文化センター自主事業の入場料を無料に)

### 教育環境充実

- 住民グラウンド公園整備事業 250万円  
(芝生化、遊具の設置など)
- 田原元気っ子クラブ整備事業 170万円  
(隣接地に子どもの遊び場を新設)

### 産業・観光活性化

- まちの商店・企業応援事業 620万円  
(店舗バリアフリー化、販路拡大等の経営改善、展示会への出展経費補助など)
- 農林業振興補助金事業 400万円  
(茶園の新規造成にも助成)

### 安心・安全

- 役場庁舎耐震改修事業 1,860万円  
(耐震化・バリアフリー化実施設計)
- ため池診断事業 200万円  
(より高度な診断を実施し、今後改修を推進)

### 環境対策

- 低炭素化社会推進事業 568万円  
(街路灯など公共施設のLED化)
- 小水力発電推進事業 442万円  
(河川で水力発電を実施)

### 健康長寿日本一

- 健康づくり応援「買い物ポイント」事業 20万円  
(健康教室・検診等参加でUPポイントを付与)
- 感染症予防ワクチン接種事業 190万円  
(乳幼児インフルエンザ、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用一部助成)

3月定例会

人事案件

○人権擁護委員の推薦同意

氏名 高田 美智子 氏 (岩山)

任期 法務大臣から委嘱された日から3年

【同意 全員賛成】

改正した条例

○「快適・安全な環境づくり」条例

費田・立川地区に新たに工業団地が計画され、宇治田原工業団地・緑苑坂テクノパークと同様に、企業立地の際の審査手続きを条例化するもの。

【可決 全員賛成】

○「クリーン21長谷山」に給水

現在の給水区域に、新たに「クリーン21長谷山(城陽市)」を追加する。

【可決 全員賛成】



クリーン21長谷山

(千円以下切捨て)

会計予算名		補正額	補正後の予算総額	議決
一般会計		△8,221万円	37億2,602万円	可決 全員賛成
特別会計	国保会計	507万円	11億6,749万円	可決 全員賛成
	後期高齢者医療会計	△303万円	7,753万円	可決 賛成9、反対2
	介護保険会計	4,128万円	6億8,465万円	可決 全員賛成
	奥山田簡水会計	△273万円	4,950万円	可決 全員賛成
	公共下水道会計	△1億8,603万円	4億2,161万円	可決 全員賛成
水道事業会計	収益的収入	△56万円	2億651万円	可決 全員賛成
	収益的支出	△299万円	1億9,031万円	
	資本的収入	△676万円	4,213万円	
	資本的支出	△504万円	1億4,411万円	

主な内容としては、各種事業のうち、国の制度変更により、子ども手当で負担金2千894万円の減額の他、実施されなかったものや減額されたもの等を精査した。また公共下水道の処理施設建設計画の見直しにより、1億2千万円を減額した。

平成23年度補正した予算

# \* 予算特別委員会の審議から \*

## 総括審議

## 条例

予算特別委員会は12人で構成し、委員長に森田木一氏、副委員長に原田周一氏を選び、3月22日から2日間の日程で審議した。主な質疑は以下の通り。

【質問】

保育所・小学校へ防犯カメラの設置を検討してはどうか。

また、自主自立に向けた財政基盤の確立は。

【答 弁 (町長)】

防犯カメラ設置は抑止力の効果が期待できる。安全対策の強化・拡充の観点から検討したい。財政健全化については、平成24年度に行政改革大綱の全面改定に取り組みたい。



防犯カメラ

【質問】

学校現場の要望は、小中一貫教育推進のための指導主事ではなく、特別支援加配の配置ではないのか。

【答 弁】

小中連携

一貫教育の果たす役割は大きい。特別支援加配は、府から6年間配置されてきたが、平成24年度は困難。継続して要望していくとともに、町の学力充実加配に特別支援加配の役割も果たしてもらおう。



中学生による合唱披露 (田原小学校)

国民健康保険条例の一部改正

【質問】

保険料が引き上げられ、滞納が増え、財政難となり、悪循環に陥っているとと思われるが。

【答 弁】

国保は構造的な問題を抱えており、国の支援を求めている。健全化計画に全力で取り組みたい。

介護保険条例の一部改正

【質問】

介護保険料の値上げについて、どのように考えているのか。

【答 弁】

保険料区分の細分化により低所得者層の負担軽減等を図っている。



特別養護老人ホーム

予算委員会

税条例の一部改正

【質問】

個人住民税の均等割引  
上げに伴う影響額はどれ  
くらいか。増税となるが、  
どのように考えるか。

【答 弁】

試算では、個人町民税  
で1年間で230万円、  
10年間で2千300万円  
となる。東日本大震災を

教訓に、本町の防災対策  
事業の財源として考えて  
いる。

討論

【反対】  
(安本 修議員)

庶民は均等割が50  
0円上がるが、大儲け  
の大企業は減税される  
ようになっていく。国  
が決めたこととはい  
え、あまりにひどい。

【質問】

地域の防災士養成事業  
について、どのような人  
材を募集するのか。

【答 弁】

自主防災会のリーダー  
等に資格を取得してい  
たきたいと考えている。

【質問】

福祉バスのルート拡充  
について、どのようにな  
るのか。

【答 弁】

岩山隠谷、南符作・切  
林地域に拡充する。ワゴ  
ン車を購入し、南ルート  
を走らせる予定である。

【質問】

健康づくり応援「買い  
物ポイント」事業の対象  
事業の拡充を。

【答 弁】

今後該当する事業があ  
れば、関係課と調整し、  
対象を拡充していく。

【質問】

高齢者の人間ドック受  
診率向上に向けて、どの  
ような取り組みをしてい  
くのか。

【答 弁】

受診勧奨、保健師によ  
る指導を行っていく。ま

た、検診結果の説明会や  
健康セミナーを実施して  
いきたい。

【質問】

三ノ宮道について、住  
民のいこいの場とし、ダ  
ンプの規制を。

【答 弁】

参道やゲートボール場  
の整備等をしてきた。今  
後は地域と相談しながら  
進めていきたい。道路交  
通法の関係で、ダンプだ

一般会計

【質問】

災害時避難所物資のア  
ルファ米の配備食数と賞  
味期限は。

【答 弁】

平成24年度までの5年  
間で2千500食を避難  
場所に配備完了する。  
耐用年数は5年である

予算

ので、防災訓練等で有効  
活用し、更新していく。



アルファ米



自主防災組織による防災訓練



三ノ宮道

けを規制するのはむずかしい。

【質問】

小水力発電について、

今後増やしていく予定はあるのか。また、メンテナンスはどうするのか。

【答 弁】

東日本大震災を受けて、水力発電を実施する。

効果があれば他にも考えていく。維持管理については、地元消防団と町がおこなう。

薪・ペレットストーブへの助成で、薪の需要が増えれば、山の再生にもつながる。林業振興の点からも、担当課や森林組

【質問】

合と連携した取り組みを。

旧奥山田小学校の跡地利用の方向性は。



薪ストーブ

【質問】

小中連携・一貫教育推進事業の学校教育指導主任の役割は。

【答 弁】

学力の向上、生徒指導上の問題の解決をねらいとしている。学校教育指導主任は、教育委員会と

保育所、小・中学校間のコーディネーターの役割を果たし、先生方の負担を軽減していきたい。



この水を使って発電（荒木天皇）

町内では現在、3か所で薪を取り扱っているが、需要が増えれば森林組合も薪の販売を開始し、そうなれば、森林の再生にもつながると考えている。

【答 弁】

維持管理費、年間稼働率や耐震の問題もある。全国の事例等も参考にし、検討しているところである。

【答 弁】

維持管理費、年間稼働率や耐震の問題もある。全国の事例等も参考にし、検討しているところである。



奥山田小学校

反対

町は、国の悪政の防波堤に

(今西久美子 議員)

高齢者は年金削減、介護保険料・後期高齢者医療保険料の値上げ、子育て層は年少扶養控除廃止で増税。住民税も値上げ。町は、国が決めたことだから仕方がなく、国の悪政の防波堤としての役割を果たしてほしい。放射能測定器を購入し、放射線量を公表すべき。一般木造住宅の耐震化を進めるため、府が実施する簡易な改修への補助を。住宅改修助成制度を導入し、町内業者の仕事起こし、経済の活性化を。保育所の少人数保育と、保育士の正規化を。山手線の全線開通に取り組みべき。三ノ宮道路は、住民の憩いの場として、ダンプカーの通行規制を。小中一貫教育の指導主事より特別支援加配等を配置すべき。就学援助の拡充を。

討論

賛成

財政改革の取り組みを一層強化

(田中 修 議員)

本町の強みである「宇治田原力」を活かした協働のまちづくりを推進し、未来に目を向けたまちの活力を生み出す施策を積極的に打ち出している。非常に厳しい財政事情の中、不要不急事業の見送りや廃止をはじめとする徹底した歳出削減や、特定目的基金、有利な起債の発行などの歳入確保対策を講じ、これまでの財政改革の取り組みを一層強化・推進されたことにより、財政調整基金の取り崩しを最小限に止められたことは、高く評価する。主要施策については、6つの重点プロジェクトに沿って、41事業にのぼる新規・拡充事業を計上されており、本町の強みや課題をしっかりと見据えた、住民一人ひとりに目を配った予算となっている。

国保会計

【質問】

子どものいる世帯には、保険証(短期証)を届けるよう厚労省の通達が出されているが、現状はどうか。

【答 弁】

子どもがいる世帯の未交付は9世帯ある。早急に訪問し交付したい。

反対

(今西久美子議員)

保険証の未交付が9世帯、その内子どももいる世帯が9世帯もある。これは、改正国保法の趣旨を理解しない、町の怠慢。一般会計から繰り入れ、国保税の値下げを。

討論

賛成

(下岡周之議員)

人間ドックへの補助や検診などの保険事業、ジェネリック(後発医薬品)との差額通知など、健康意識の啓発と、一層の歳出抑制に向けた事業運営が図られるものと評価する。

なぜ、今、ジェネリック医薬品は注目されているの？

ジェネリック医薬品希望カードはどうか？

1 病院、薬局で処方された薬は？

2 病院で処方された薬は？

ジェネリック医薬品希望カード	ジェネリック医薬品希望カード
17,820円	4,300円
12,140円	12,140円
5,840円	1,480円
4,300円	4,300円

ジェネリック医薬品希望カード

ジェネリック医薬品希望カード

ジェネリック医薬品希望カード

ジェネリック医薬品希望カード

ジェネリック医薬品希望カード



後期高齢者医療会計

【質問】

保険料はいくら上がるのか。

【答 弁】

1人当たり平均で5.0%、月額300円の引き上げである。

介護保険会計

【質問】

二次予防事業対象者把握事業の内容は。

【答 弁】

介護認定を受けていない方へ、基本チェックリストを送付し、返送により二次予防事業へつなげる。

【反対】 (安本 修議員)

保険料が、基準額で9千600円も上がる。保険料と利用料で住民の介護保険負担は限界である。

【討論】

賛成 (下岡周之議員)

歳入歳出の均衡を図り、健全な介護保険財政を運営・維持していくには介護保険料の値上げはしかたない。

賛成 (青山美義議員)  
現在、国において制度の見直しが議論されているが、制度も定着し、円滑な事務執行が図られている。

【討論】

【反対】 (安本 修議員)

国は制度の廃止を先送りしている。保険料は値上げ。元の老人医療制度に戻し、改善するべき。



元気はつらつ！若返り塾 (湯屋谷)

下水道事業会計

【質問】

下水道普及促進事業について、未接続の世帯への対応は。

【答 弁】

2カ年間の普及促進員の未接続世帯への個別勧奨により聞き取った接続できていない理由を分析し、下水道普及促進員、町職員も訪問し勧奨していききたい。

水道事業会計

【質問】

水道会計は黒字が続いている。基本水量を見直し、水道料金引き下げと、単身世帯や高齢者世帯への減免を。

【答 弁】

累積ではまだ赤字であり、引き下げは考えていない。減免については、近隣の動向も十分見るなかで検討していきたい。



下水処理施設

# 柔道の必修化授業の安全対策は

## 【答】 授業規律を確保し指導の徹底を図る

考えている。

面・ソフト面の条件整備と環境作りは万全か。併せて柔道は他競技に比べ事故も多く危険度も高いが、指導者養成をはじめ柔軟な思考で指導法を工

【質問】  
新学習指導要領の実施において、小学校では夏休みの短縮等が発生したが、平成24年度から中学校が実施される。移行に向け準備状況は万全な体制か。

【質問】

男女とも武道が必修化され、その中で柔道を選択されるが、指導者の体制、施設・用具等ハード

面・ソフト面の条件整備と環境作りは万全か。併せて柔道は他競技に比べ事故も多く危険度も高いが、指導者養成をはじめ柔軟な思考で指導法を工



垣内秋弘  
議員

夫し、安全を重視した授業を行なうことが重要である。教育長の考えは。

【答 弁（教育長）】

安全対策として、通常の畳より安全なジョイント式柔道マットを購入した。また、府教委主催の講習会で、頭部の損傷につながる危険な技は使わないことや、授業開始前後の授業規律の確保も含め、安全面に配慮した指導を徹底したいと考えている。

【質問】

【答 弁（総務課長）】



文化センターでのイベント

各種イベント事業での集客アップを

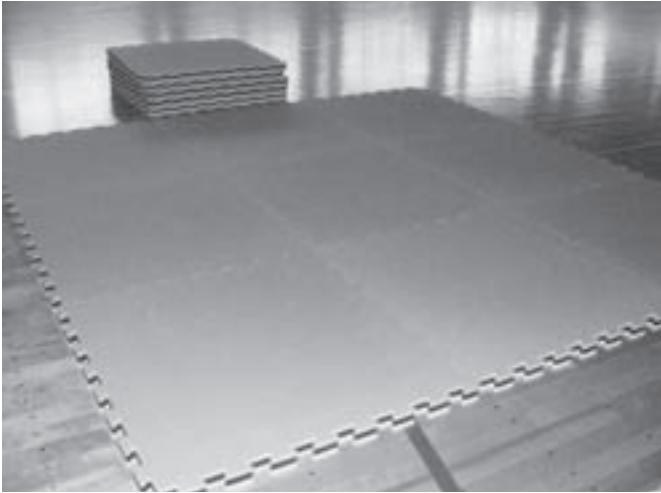
【答】 検討し、効果的に実施する

現在、文化センター「さざんかホール」にて様々なイベントが開催されているが、入場券等を発行する事業を除いて、入場者が少なく、何とかならないのかと思う時がある。主催者はもとより講師ともども互いに張り合

行政が主体となった事業においては広報紙や新聞等を通じてPRを行っているが多様化する価値観の影響もあり平成8年の開館時に比べ、26%減の状態。現代社会においては、集客自体が困難で、PR活動を積極的に進め

【答 弁（教育長）】  
教育課程を全面实施するため①年間指導計画を作成②実質的な授業時間を確保③教材教具を事前に準備し新教科書への対応を図る。

また、生徒の学力向上をめざすため①学習に専念できる環境作り②魅力ある授業の工夫③家庭での学習時間増等が大切と



ジョイント式柔道マット

いがないと士気にも影響する。反省し次につなげるためにも問題・課題を整理しておく必要があるが現状での判断は。

ても満席にするのは難しくなっている。今後、テーマの設定や方法など検討し、効果的にイベントを実施していく。



今西久美子  
議員

# 少人数保育の実施と 職員の正規化を

【答】 配置基準に則し、適正に配置している



職員体制は、  
正職9人、臨時  
保育士、看護師、  
保育助手で対応  
する。

【質 問】  
保育士は乳幼  
児の発達にか  
かわる専門職で

【質 問】

保育所の来年度のクラ  
ス編成と職員体制は。

1クラスあたりの人数  
が多く、保護者からは不  
安の声を聞いている。ク  
ラスを分け、少人数での  
保育をすべき。

【答 弁 (福祉課長)】

低年齢児は、国の面積  
基準を確保し、安全で快  
適に生活できるよう工夫  
していく。3歳児は38人  
で2クラス、4歳児36人、  
5歳児37人でそれぞれ1  
クラスとするが、保育士  
は2名ずつ配置する。

あり、安定した雇用なく  
して、本来の役割は果た  
せない。この間、行革の  
名のもとに、人件費が削  
られ、正規職員がアルバ  
イトに切り替えられてい  
る。将来の宇治田原町を  
担う子どもたちにかかわ  
る保育士は、正規化を。

【答 弁 (福祉課長)】

配置基準に則し、保育  
士を配置すれば雇用の形  
態は問題ない。児童数の  
減少に伴い保育士も減る  
が、必要なところには保  
育士を配置している。行  
革にはあたらない。

## 災害の教訓生かし、防災対策の強化を

【答】 平成24年度に計画を見直す

【質 問】

この間の災害の教訓を  
生かし、防災対策の強化  
が求められている。地域  
防災計画をどのように見  
直していくのか。

【答 弁 (総務課長)】

昨年の大規模災害をふ  
まえ、複合災害対策、支  
援を受ける受援対策、集  
中豪雨対策や、福祉避難  
所、備蓄物資の整備等に  
ついて、平成24年度に見  
直しを予定している。

【質 問】

災害の際に援護が必要  
な方々の名簿を地域で共  
有し、町内会の班単位ぐ  
らいでのきめ細やかな対  
応が必要ではないか。  
【答 弁 (総務課長)】  
個々の避難支援計画書

の作成に時間を要してい  
る。今後さらに、各地区  
の実情に沿った計画書づ  
くりにより自主防災会等と  
もに取り組んでいく。

【質 問】

防災計画の見直しに  
は、自主防災会や自治会  
役員、民生委員などの意  
見や視点こそ反映を。

【答 弁 (総務課長)】

意見を聞く機会を設け  
るよう検討する。

【質 問】

京都市は平成24年度  
から、木造住宅の簡単な  
改修工事に対しても助成  
し、耐震化の支援を強化  
する。町としても助成の  
拡充を。

【答 弁 (建設環境課長)】

新たな助成は考えてい  
ない。耐震化改修工事へ  
の補助は、町負担分の上  
乗せを実施しており、周  
知を図る。



耐震補強工事

# マツタケを特産物に復活できないか

## 【答】 試験林の管理と活用を検討したい



安本 修  
議員

【質問】

田原マツタケを町の特産物として復活させてはどうか。

山そのものが生き生きと活用され守られていた時代、マツタケがよく出

ていたことを考えると、

マツタケの特産物復活と山の再生とは有機的につながっていくものである。

町として、試験林を活用し、長年にわたって研

究を積み重ねてきたが、

その成果を広く住民に知らせるとともに、試験林そのものを住民に活用できるようにならないか。

【答 弁(産業振興課長)】

戦後、松林からスギ、ヒノキの造林事業が急速に進められたことから、

マツタケの生産が激減した。平成2年度から試験

林を設置し、研究してきた。現在、有志の方々による独自の取り組みが積み重ねられている。試験

林の活用とこの間の研究成果をどのようにまとめられるかを検討したい。

## リフォーム助成の制度化を

### 【答】 特定業種にかたより適当でない

【質問】

地元業者に頼んでリフォームすれば、工事代金の一部を町が助成する制度を作ってはどうか。リフォームの内容は様々

であり、建築業にとどまらず、地元産材の活用、電気工事、水回りの工事、

壁紙・建具などの室内装飾、カーテンは繊維組合等々、いろいろな業種が

かかわり、地元業者の仕事作り・支援につながる。地元経済を活性化させるための取り組みとして制度化してはどうか。

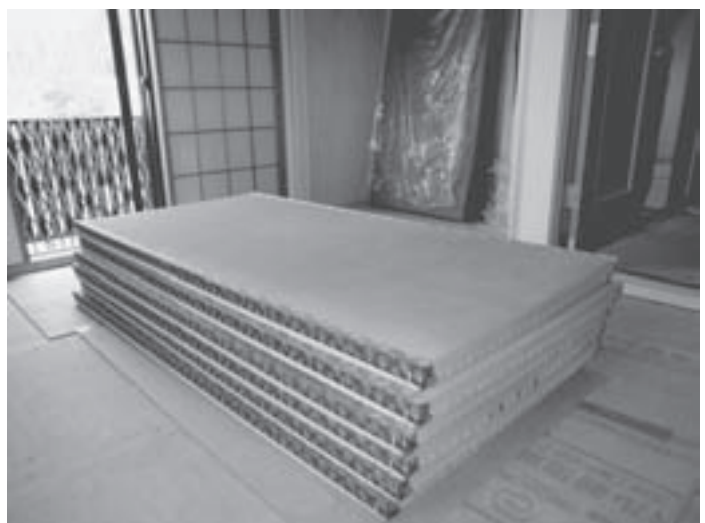
【答 弁(産業振興課長)】

仕事おこしとしてのリフォームへの助成は、特定の業種にかたより過ぎることから、業者支援と

しては適当でないと考え



田原マツタケ



リフォーム中の住宅



原田周一  
議員

# 災害時の防災教育を

## 【答】計画的・継続的な訓練が重要

【質問】

学校における登校、下校時に対応した訓練などはできているか。いろいろな想定による日々の防災教育が必要と思うが。

【答 弁（教育次長）】

防犯訓練、火災または地震等における集団行動の基本的な訓練を想定して実施している。地震の想定訓練は、登下校中・授業中・休み時間等に区分し、指導。班長がリーダーとなり指示でき、行動するよう指導している。

【質問】

登校班の各班長のレベルの引き上げや、下級生へのリーダーシップの教育は。

【答 弁（教育次長）】

年間活動計画の中で、リーダーシップのとれる活動を実践している。

【質問】

先の東日本大震災で児童生徒約570人が津波から生き残った事例がある。防災教育の必要性は。

【答 弁（教育長）】

津波からの避難において、繰り返し学んだ知識で、迅速な避難行動により、自らの命を守った他、近くの小学校児童や町の人々の避難を促し、多くの命を救うことができた。計画的・継続的な災害安全学習に基づいた判断のもと、地域社会の一員として自主的に行動する態度を身につけることは、教訓として大変重要と考える。南山城水害を経験した本町の地域特性をふまえた指導も必要と考えている。

### 受け皿としての施設準備は

#### 【答】既存民家の活用も含めて検討

【質問】

障がい者ケアホームとグループホーム一元化に向けての取り組みは。

【答 弁（福祉課長）】

ケアホームは平成23年5月から事業を実施。定員10名の男子棟と5名の女子棟。事業所としては、グループホームの指定も受けている。重度かつ早期の同居希望の方から優先的に入居。現在15名の定員が満室であるが、障がい福祉計画では、当面の必要数は確保されたと考える。この3年間での大幅なサービス増加は見込んでいない。

【質問】

近い将来、障がい者の方々や家族の高齢化を考慮した場合、受け皿としての施設の準備が必要と

【答 弁（福祉課長）】

現在は家族一緒に生活していても、将来に対する大きな不安を抱えている。今後の施設設置に際し、新築施設のみならず、既存民家の活用も含めて多様な可能性を検討していきたい。



山あいの通学路



ケアホーム

# 町長は4選をめざすべきでは

## 【答】 時期がきたら判断する

【質問】

町長は2001年に初

当選され、12年目を迎

ている。3期12年の公約

を総括して、新名神高速

道路の実現を推進し、新

市街地に一つでも企業誘

致をすべきである。町づ

くりは中途半端、道なか

ばであり、腹をくくって

4選をめざすべき。

【答 弁(町長)】

直面している平成24年

度予算を最優先課題とし

て施策実施の実現に取り

組む。早計であり、しか

るべき時期がきたら判断

したい。

## 教育の現状はどうか

## 【答】 一部の生徒に課題が見られる

【質問】

教育長就任一年余り、

宇治田原の教育の現状を

どう思っているのか。

【答 弁(教育長)】

本町の子どもたちは、

豊かな自然環境と住民の

温かい見守りにより落ち

着いた環境で学んできた

が、長引くデフレ経済の

影響で環境も年々悪化。

一部には教育力が低下し

た家庭も見られ、学習意

欲が乏しい子どもや、人

間関係がうまく構築でき

ない子どもが徐々にふえ

ている。

特に、小6から中1へ、

急激に変わる学校生活や

専科教員による指導に負

担を感じる子どもたちも

少なくなく、中学校生活

にうまく適用できず不登



森田木一 議員

校や問題行動など、課題

も見られる。これらの解

決には、小・中9年間の

一貫した教育が有効な手

段と考えている。

【質問】

本町の小中連携一貫教

育の進め方は。

【答 弁(教育長)】

小学校入学からの9年

後の中学卒業時に、自ら

の進路を切り

開くことで

きる生徒の育

成であり、小

中連携のあり

方、検討委員

会を立ち上げ

構想案を示し

たい。

## 高速道路の見直しは

## 【答】 見直し区間解凍に全力



新名神ルート図

【質問】

先日、京都府知事が新

名神高速道路の抜本的見

直し区間の早期着工の要

望書を、民主党と国土交

通大臣に出された。30

7号線の渋滞も続してい

る。山手線もまだ一部、

新市街地の工業用地も確

保できたが、企業はまだ

入っていない。今後のま

ちづくりは新名神高速道

路の早期実現にかかわ

る。見直しは。

【答 弁(町長)】

町の将来は新名神のイ

ンターにかかっており、

任期中に抜本の見直し区

間の解凍のために全力を

つとめます。



中学校入学式



上林 昌三  
議員

# 本町での児童虐待の現状は

## 【答】 深刻なケースは発生していない



休日を楽しむ父と子

一般質問

### 【質問】

近年、親の虐待によって子どもの命が奪われる悲しい事件が後を絶たない。子どもの虐待は深刻な問題として社会的な関心も高まり、平成12年5月には「防児童虐待の防止等に関する法律」が成立し、同年11月から施行さ

れている。しかし、児童虐待を考えると必ず「しつけと虐待の境目」につ

いて、「どこまでがしつけで、どこからが虐待なのか」、また「どこまでが良くて、どこからが悪なのか」、はっきりした基準はむずかしいとされている。児童虐待への対

応として、子どもを虐待する親から保護すると同時に、どう家族を支援していくかが課題として広く認識されるようになったことは、児童虐待が状況次第でどんな家庭でも起こりうる問題として受けとめられるようになった。

もし、本町で「これは虐待では」という発見や通報があった場合、以下の点について、関係機関がどのような対応するのか。

- ①現状の把握
- ②発生の予防
- ③通告・相談への対応
- ④調査及び保護者・子どもへのアプローチ
- ⑤援助

### 【答 弁（福祉課長）】

本町の児童虐待については、深刻なケースは発生しておらず、現在は保

護者の養育を継続的に見守っている現状である。本町では、要保護児童の早期発見と適切な保護を行うため、「宇治田原町要保護児童対策地域協議会」を設置し、いち早く対応できるよう取り組みの強化を図っているが、

まずは虐待の兆候を見逃さない事が大事。そのために、保育所や学校での身体測定や、給食時間での変化を見逃すことのないよう、保健師による乳幼児家庭の全戸訪問等を通し、母親の育児不安から起こる虐待を未然に防止するための支援についても考慮している。

昨今、長引く景気の低迷、不安定な雇用情勢が児童を取り巻く家庭環境にも大きく影響を及ぼし、全国的にも虐待のリスクが年々高まってきて

いる。今後引き続き、関係機関と連携を密にしながら、児童虐待の未然防止に努めていきたい。

議会の活性化に関する特別委員会

信頼される議会になるために

滋賀県日野町へ

平成23年7月の精華町議会での研修に続き、平成24年1月25日(木) 滋賀県蒲生郡日野町議会にて研修を行いました。



日野町議会議場を視察

本町での  
取り組み

日野町では、平成22年4月に「議会基本条例制定検討委員会」を設置、翌年の平成23年3月に条例が制定されました。議会基本条例制定までの取り組みについて、説明をうけ、主に議会と執行側との関係、住民と議会との関係、議員の政治倫理についてなど、参考になる内容も多く、充実した研修となりました。

本町では、平成23年3月に「議会活性化に関する特別委員会」を設置し、その後、平成24年3月まで7回の特別委員会、2回の行政視察、2回の講師による研修会を開催及び参加し、「議会活性化」に向けて調査、研究を深めてきました。本年4月に開催した特別委員会では、「議会基本条例」(※)の素案も仕上げ、今後さらに検討を重ねる予定です。

そして、「議会は何をすべきか。どうあるべきか」を確認し、住民の皆様のご期待に応えられる議会を確立するため、本

町議会の委員全員の英知を集め、議論を交わしているところです。



日野町での研修

※議会基本条例とは

議会は、住民の代表機関であり、誰もが住み良いまちづくりに向け、その役割と責務を全うし、町の発展と住民の福祉向上を使命として、住民の負託に全力をあげて応えなければなりません。

また、憲法及び地方自治法を遵守して、公平・公正性、透明性を確保することにより、住民に開かれた、信頼される議会を実現し、住民が安心して生活できる豊かなまちづくりをめざし、住民を代表する合議制の機関としての機能を最大限に発揮するために、制定するものです。





みんなの家で、柘植さん（左）と林さん（右）

ママ'sアクション代表

つげ あや  
柘植 彩 さん

はやし けいこ  
林 恵子 さん

ママ'sアクション!は、立川地域にある民家、「みんなの家」を拠点に、震災ボランティア活動と、子育て世代の親交流を目的に活動されています。今回は、代表のお二人に、インタビューしてきました。

**Q** ママ'sアクション!の活動を始められたきっかけは。

**A** 昨年の東日本大震災の報道を見て、「何か助けたい」「みんなで力を合わせれば何かできるかな」と思い、「みんなの家」で知り合った人たちに声をかけたのがきっかけです。多くの人が同じ思いでしたが、子育て中で現地に行くこともできず、でも何かしたい!ということで、震災3日後の14日には、スタッフ会議をもち、活動をはじめました。

**Q** その後の活動は。

**A** 年に2回ぐらいはイベントをしようと、昨年の8月に夏まつりを、今年の3月には昔遊び大会とバザーを実施。子どもたちは、昔遊びの達人や平岡地域のおばあちゃんたちとお手玉投げ大会で盛り上がりました。

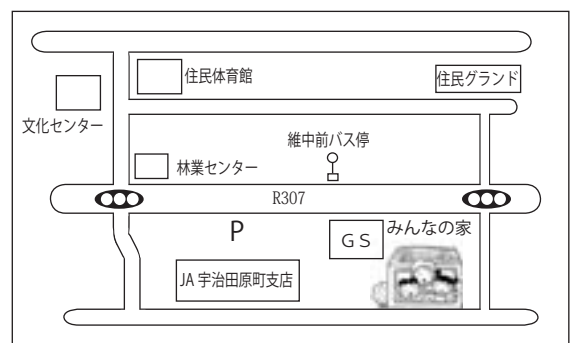


これまでに、手作りのお手玉1000個、バザーの収益で買ったおもちゃ、クリスマスプレゼントなどを被災地の子どもたちへ贈りました。

**Q** 今後の取り組みは。

**A** 1年たって、被災地も状況が変わり、何ができるか手探りの状況です。放射能に汚染された地域では、外で遊べない子どもたちのために、松ぼっくりや葉っぱ、ドングリ、石などを送ってほしいという要望があります。現地のお話を聞きながら、贈れるものをさがしたい。

また、親のリフレッシュや親同士の交流、子どもたちの友だちづくりの場としても大きな役割を果たしています。ボランティアスタッフも募集中です。子育て中の方だけでなく、どなたでもお気軽に、ぜひ一度、のぞいてみてください。



みんなの家は水曜日と金曜日の10時~16時までです。  
JA宇治田原町支店の駐車場(国道沿いの一列は駐車OK)から徒歩3分。



福祉まつり



田原川沿いの桜



宇治田原小学校卒業式



田原小学校卒業式

### 今号の表紙

「屋根より高いこいのぼり」。お子様の健やかな成長を願い、大空を元気に泳ぐこいのぼり。さわやかな青空のもと、夢中でシャッターチャンスをとねらい撮影しました。

(田中)

### 編集後記

鯉のぼりが大空を気持ちよく泳ぎ、宇治田原の里にも新茶の香りが漂う季節となりました。

さて、今回の議会だよりで71号目の発行になります。読みやすく、わかりやすく議会のお話を伝えるように、広報編集委員全員で取り組んでおります。ご意見・ご感想等をお寄せ下さい。

広報編集委員 田中